

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部鍼灸学科	2年	整形外科臨床鍼灸学I	2	実習	坂井 友実	鍼灸師としての実務経験のある教員が、整形外科疾患や症状について鍼灸治療の立場からのアプローチの実際について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	坂井 友実	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	坂井 友実	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	坂井 友実	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床医学総論I	1	講義	田中 滋城	医師としての実務経験のある教員が、診察の概要、診察の方法、生命徴候の診察、全身の診察について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床医学各論I	1	講義	田中 滋城	医師としての実務経験のある教員が、主要な感染症、消化管疾患、肝・胆・膵疾患、呼吸器疾患、代謝疾患の概念、原因、症状、診断、治療について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	臨床医学各論II	1	講義	田中 滋城	医師としての実務経験のある教員が、主要な循環器疾患、血液・造血器疾患、自己免疫疾患、神経・筋疾患の概念、原因、症状、診断、治療について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	臨床医学各論III	1	講義	田中 滋城	医師としての実務経験のある教員が、神経・筋疾患のほか、鍼灸師として必要と思われる皮膚科疾患、耳鼻科疾患、眼科疾患、産婦人科疾患について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	診療所実習	1	実習	田中 滋城	医師としての実務経験のある教員が、現代医学の医療現場の見学を通じて、医療人としての鍼灸師の役割について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	3年	レディース臨床鍼灸学	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、女性科領域で鍼灸臨床と関連の深い疾患に対し、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	泌尿器・皮膚科臨床鍼灸学	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床で扱うことの多い、泌尿器科・皮膚科領域の疾患についてそれぞれの患者の病態を把握させ、また鍼灸治療の方法についてシュミレーション実習により習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	眼科・耳鼻科臨床鍼灸学	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、眼科・耳鼻科・歯科領域で鍼灸臨床と関連の深い疾患に対し、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	内科臨床鍼灸学I	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、主に呼吸器・循環器系疾患、消化器系疾患、高齢者疾患について、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部鍼灸学科	3年	内科臨床鍼灸学II	1	実習	安野 富美子	鍼灸師としての実務経験のある教員が、高齢者・内科・精神科疾患について、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	整形外科臨床鍼灸学I	2	実習	水出 靖	鍼灸師としての実務経験のある教員が、整形外科疾患や症状について鍼灸治療の立場からのアプローチの実際について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	整形外科臨床鍼灸学II	1	実習	水出 靖	鍼灸師としての実務経験のある教員が、整形外科疾患や症状について鍼灸治療の立場からのアプローチの実際について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	水出 靖	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	水出 靖	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	3年	鍼灸治効理論実習	1	実習	木村 友昭	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸刺激が神経系、特に求心路を介してどのようにして生体機能（自律神経系・体制神経）に影響を及ぼすかについて講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	木村 友昭	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	木村 友昭	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	木村 友昭	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床鍼灸手技実習I	1	実習	古賀 義久	鍼灸師としての実務経験のある教員が、刺鍼中の17種類の手技や皮内鍼、円皮鍼、小児鍼、灸頭鍼などの特殊鍼法についての理論を理解し、実践できるように講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床鍼灸手技実習II	1	実習	古賀 義久	鍼灸師としての実務経験のある教員が、焦灼灸、知熱灸、隔物灸（しょうが灸、にんにく灸、塩灸）、温灸（棒灸、間接灸）等の技術および、家伝の灸等の特殊な灸法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	触診解剖と刺鍼手技	1	実習	古賀 義久	鍼灸師としての実務経験のある教員が、触診することで解剖学的構造（骨、筋・神経・血管など）を理解し、触診技術を習得させ、その上で、特定の部位（筋や神経の走行上）へ的確に刺鍼できるようになるための講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	古賀 義久	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	眼科・耳鼻科臨床鍼灸学	1	実習	古賀 義久	鍼灸師としての実務経験のある教員が、眼科・耳鼻科・歯科領域で鍼灸臨床と関連の深い疾患に対し、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	1年	基礎施灸手技実習	2	実習	矢蔭 裕義	鍼灸師としての実務経験のある教員が、施灸における基本手技を習得させる。
保健医療学部鍼灸学科	1年	基礎刺鍼手技実習	2	実習	矢蔭 裕義	鍼灸師としての実務経験のある教員が、施鍼における基本刺鍼手技を習得させる。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	矢島 裕義	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	矢島 裕義	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	矢島 裕義	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	2年	触診解剖と刺鍼手技	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、触診することで解剖学的構造（骨・筋・神経・血管など）を理解し、触診技術を習得させ、その上で、特定の部位（筋や神経の走行上）への的確に刺鍼できるようになるための講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床鍼灸手技実習I	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、刺鍼中の17種類の手技や皮内鍼、円皮鍼、小児鍼、灸頭鍼などの特殊鍼法についての理論を理解し、実践できるように講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	2年	臨床鍼灸手技実習II	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、焦灼灸、知熱灸、隔物灸（しょうが灸、にんにく灸、塩灸）、温灸（棒灸、間接灸）等の技術および、家伝の灸等の特殊な灸法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	菅原 正秋	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	藤本 英樹	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	藤本 英樹	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	藤本 英樹	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	3年	スポーツ鍼灸学I	1	実習	藤本 英樹	鍼灸師としての実務経験のある教員が、主要な関節の機能解剖、スポーツ外傷・障害の概念、各種疾患の症状や原因、診察方法、アスレティックリハビリテーションおよび鍼灸治療法を中心として講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	高山 美歩	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	高山 美歩	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	高山 美歩	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	高梨 知揚	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	高梨 知揚	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	高梨 知揚	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	谷口 博志	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	谷口 博志	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	谷口 博志	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	3年	内科臨床鍼灸学I	1	実習	谷口 博志	鍼灸師としての実務経験のある教員が、主に呼吸器・循環器系疾患、消化器系疾患、高齢者疾患について、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	内科臨床鍼灸学II	1	実習	谷口 博志	鍼灸師としての実務経験のある教員が、高齢者・内科・精神科疾患について、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	3年	レディース臨床鍼灸学	1	実習	谷口 授	鍼灸師としての実務経験のある教員が、女性科領域で鍼灸臨床と関連の深い疾患に対し、医療面接および身体診察を行い、鍼灸治療の方法について習得できるよう講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習I	1	実習	谷口 授	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。
保健医療学部鍼灸学科	4年	附属鍼灸センター実習II	1	実習	谷口 授	鍼灸師としての実務経験のある教員が、附属鍼灸治療センターにおける実習において患者の問診、診察による病態把握や病態に基づく治療プラン、患者へのインフォームドコンセント、鍼灸治療の評価等の実際を教授する。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部鍼灸学科	4年	カンファレンス（症例検討）	1	実習	谷口 授	鍼灸師としての実務経験のある教員が、鍼灸臨床における問題点の把握の仕方と問題解決の方法について講義を行う。
保健医療学部鍼灸学科	1年	基礎施灸手技実習	2	実習	谷口 授	鍼灸師としての実務経験のある教員が、施灸における基本手技を習得させる。
保健医療学部鍼灸学科 合計25単位						
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	成瀬 秀夫	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	病理学実習	1	実習	寺井 政憲	研究員としての実務経験から、顕微鏡観察で得られる知見を通して、組織レベルのイベントから全身（臓器、個体）のイベントを病理学的に根拠に基づいた推察をして、お互いに議論が出来るようにする。
保健医療学部柔道整復学科	2年	外科学概論I	2	講義	鈴木 秀一	医師としての実務経験から、外科学の歴史と領域別専門分化の過程、損傷（創傷、熱傷）、外科で扱う感染症、腫瘍、ショック、輸血と輸液、滅菌と消毒、手術について講義を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	外科学概論II	1	演習	鈴木 秀一	医師としての実務経験から、麻酔（全身麻酔と局所麻酔）、移植、出血と止血、脳神経外科疾患、甲状腺・頸部の疾患、胸壁・呼吸器の疾患について講義を行う。
保健医療学部柔道整復学科	3年	外科学概論III	1	演習	鈴木 秀一	医師としての実務経験から、心臓・脈管疾患、乳腺疾患（乳癌など）、腹部外科疾患（胃十二指腸潰瘍、胃癌、大腸癌など）について講義を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	橋本 昇	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	運動学II	1	講義	高橋 康輝	スポーツクラブでの実務経験を活かし、身体運動の構造や性質を諸原理から選択して系統的に応用する科学的研究の手法を身につけさせる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	運動学実習	1	実習	高橋 康輝	スポーツクラブでの実務経験を活かし、姿勢の分析、関節運動の分析、重心と重心動揺の測定、姿勢保持と姿勢反射の分析、筋力の測定、呼吸の測定・分析、歩行の分析などを学習させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	卒業研究II	2	演習	高橋 康輝	スポーツクラブでの実務経験を活かし、教員の指導の下で、健康を創造する手段のひとつである体育・スポーツという領域における事象を科学的に検討し論文としてまとめさせていく。
保健医療学部柔道整復学科	4年	卒業研究II	2	演習	徳安 秀政	柔道教室での実務経験を活かし、教員の指導の下で、柔道の事故発生因子、多発事象を科学的に検討し論文としてまとめさせていく。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技I	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための基本包帯法（環行帯、亀甲帯、麦穂帯、折転帯など）、部位別包帯法、三角巾による堤肘について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技II	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための部位別包帯法、冠名包帯法（デゾー包帯など）、固定材料の作成法と固定の実際、テーピングについて指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	小山 浩司	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技I	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための基本包帯法（環行帯、亀甲帯、麦穂帯、折転帯など）、部位別包帯法、三角巾による堤肘について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技II	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための部位別包帯法、冠名包帯法（デゾー包帯など）、固定材料の作成法と固定の実際、テーピングについて指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	櫻井 敬晋	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	中澤 正孝	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	上肢の骨折実技III	1	実習	福田 格	柔道整復師としての実務経験のある教員が、橈骨頭・頸骨折、肘頭骨折、モンテギア骨折、前腕骨幹部骨折について診察法、整復法、固定法固定法、経過状の注意点を指導する。
保健医療学部柔道整復学科	3年	上肢の骨折実技IV	1	実習	福田 格	柔道整復師としての実務経験のある教員が、橈骨遠位端骨折、手根骨骨折、中手骨骨折、指骨骨折について診察法、整復法、固定法固定法、経過状の注意点を指導する。
保健医療学部柔道整復学科	4年	軟部組織損傷の実技I	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員が、軟部組織損傷の痛みのとらえ方、柔整手技療法、頸部痛から上肢痛、腰痛から下肢痛、肩痛、肘痛、手関節部痛、手指部痛の概念・徒手検査法・治療法について指導する。
保健医療学部柔道整復学科	4年	軟部組織損傷の実技II	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員が、軟部組織損傷の股関節部痛、膝関節部痛、下腿部痛、足関節部痛、足趾部痛の概念・徒手検査法・治療法について指導する。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	久米 信好	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技I	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための基本包帯法（環行帯、亀甲帯、麦穂帯、折転帯など）、部位別包帯法、三角巾による堤肘について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技II	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための部位別包帯法、冠名包帯法（デゾー包帯など）、固定材料の作成法と固定の実際、テーピングについて指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	久保 慶東	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	1年	包帯実技II	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折、脱臼、軟部組織損傷の保存的治療での固定のための部位別包帯法、冠包帯法（デゾー包帯など）、固定材料の作成法と固定の実際、テーピングについて指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	山口 登一郎	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	軟部組織損傷の実技I	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員が、軟部組織損傷の痛みのとらえ方、柔整手技療法、頸部痛から上肢痛、腰部から下肢痛、肩部痛、肘部痛、手関節部痛、手指部痛の概念・徒手検査法・治療法について指導する。
保健医療学部柔道整復学科	4年	軟部組織損傷の実技II	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員が、軟部組織損傷の股関節部痛、膝関節部痛、下腿部痛、足関節部痛、足趾部痛の概念・徒手検査法・治療法について指導する。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	1年	臨床実習I	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員が、柔道整復師の業務範囲と医療機関との連携や、医療人としての倫理観、医療人に相応しい服装・容姿・態度・マナー・話し方など臨床現場に必要な基本的知識について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習III	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	片岡 裕恵	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	福田 翔	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	福田 翔	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	福田 翔	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	福田 翔	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	2年	整形外科学I	2	講義	入江 一憲	臨床医として整形外科診療の実務経験豊富な教員が、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識を教授する。
保健医療学部柔道整復学科	2年	整形外科学II	2	講義	入江 一憲	臨床医として整形外科診療の実務経験豊富な教員が、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識を教授する。
保健医療学部柔道整復学科	3年	整形外科学III	2	講義	高橋 雅足	医師としての実務経験のある教員が、柔道整復学と関係の深い運動器の疾患および外傷について講義を行う。
保健医療学部柔道整復学科	3年	整形外科学IV	2	講義	高橋 雅足	医師としての実務経験のある教員が、柔道整復学と関係の深い運動器の疾患および外傷について講義を行う。
保健医療学部柔道整復学科	2年	臨床実習II	1	実習	小柳 祐華	柔道整復師としての実務経験のある教員が、包帯法の応用、固定材料の作成と固定、柔整手技療法など臨床現場に必要な基本的技術について指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習IV	1	実習	小柳 祐華	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	3年	臨床実習V	1	実習	小柳 祐華	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、附属接骨センターにおいて、種々の疾患に対する問診法、触診法、検査法および治療法について指導を行い、またカンファレンスも経験させる。
保健医療学部柔道整復学科	4年	臨床実習VI	1	実習	小柳 祐華	柔道整復師としての実務経験のある教員の指示の下、学外の整形外科医院および接骨院において、患者の疾患に対する問診法、触診法、検査法、治療法などのプロセスの実際を経験させる。
保健医療学部柔道整復学科 合計 29 単位						

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
看護学部看護学科	4年	在宅看護学実習	2	実習	掛本 知里	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、在宅で療養生活を送る個人および家族を対象とした看護実践、ならびに地域の保健医療福祉システムとそれを支える多職種との連携、さらに在宅看護領域における看護職の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	4年	公衆衛生看護学実習	5	実習	掛本 知里	看護師・保健師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、地域で生活する個人および家族、集団、組織を対象とした健康の保持・増進のための看護実践、ならびに地域の保健医療福祉システムとそれを支える多職種との連携、さらに公衆衛生看護領域における看護職の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	1年	コミュニケーション実習	1	実習	川上 嘉明	病院や老人福祉施設で勤務経験のある教員がその経験を活かし、地域の高齢者ケア施設等での高齢者への支援について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	老年看護学実習Ⅱ	3	実習	川上 嘉明	病院や老人福祉施設で勤務経験のある教員がその経験を活かし、老年期における患者のケアに関し看護援助の提供、看護計画、看護過程について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	精神看護学実習	2	実習	角田 秋	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、精神保健医療福祉における看護の役割、精神科看護に必要な基本的技術、多職種との対人関係能力について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	小児看護学実習	2	実習	西山 智春	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、健康問題を抱える子どもとその家族を対象とした疾患および治療、子どもの成長発達を踏まえた看護実践、多職種との連携について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	母性看護学実習	2	実習	家吉 望み	看護師・助産師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、周産期における女性と新生児及びその家族に対する個々の新しい役割に応じた個別的な看護について臨地実習にて指導を行う。
看護学部看護学科	3年	慢性期・終末期看護実習	3	実習	笹鹿 美帆子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、慢性疾患を持つ対象者に対する看護援助の提供、看護過程の展開、ケアプランの立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	周手術期看護実習	3	実習	北島 泰子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、病院に入院している成人対象者で手術を受ける患者または生命の危機にある患者を対象とする看護援助の提供、看護過程の展開、看護援助計画の立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	1年	導入基礎実習	1	実習	田仲 珠恵	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護学を学ぶ初期段階に必要な看護におけるコミュニケーションの意義、看護の場の特徴、看護の役割と機能について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	田仲 珠恵	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	1年	導入基礎実習	1	実習	山本 亜矢	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護学を学ぶ初期段階に必要な看護におけるコミュニケーションの意義、看護の場の特徴、看護の役割と機能について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	山本 亜矢	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
看護学部看護学科	4年	在宅看護学実習	2	実習	乙黒 千鶴	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、在宅で療養生活を送る個人および家族を対象とした看護実践、ならびに地域の保健医療福祉システムとそれを支える多職種との連携、さらに在宅看護領域における看護職の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	4年	公衆衛生看護学実習	5	実習	乙黒 千鶴	看護師・保健師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、地域で生活する個人および家族、集団、組織を対象とした健康の保持・増進のための看護実践、ならびに地域の保健医療福祉システムとそれを支える多職種との連携、さらに公衆衛生看護領域における看護職の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	慢性期・終末期看護実習	3	実習	杉田 和代	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、慢性疾患を持つ対象者に対する看護援助の提供、看護過程の展開、ケアプランの立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	1年	導入基礎実習	1	実習	中村 充浩	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護学を学ぶ初期段階に必要な看護におけるコミュニケーションの意義、看護の場の特徴、看護の役割と機能について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	中村 充浩	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	弓気田 美香	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	小児看護学実習	2	実習	弓気田 美香	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、健康問題を抱える子どもとその家族を対象とした疾患および治療、子どもの成長発達を踏まえた看護実践、多職種との連携について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	1年	コミュニケーション実習	1	実習	小野 香奈	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、地域の高齢者ケア施設等での高齢者への支援について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	老年看護学実習Ⅱ	3	実習	小野 香奈	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、老年期における患者のケアに関し看護援助の提供、看護計画、看護過程について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	川村 未樹	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	周手術期看護実習	3	実習	川村 未樹	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、病院に入院している成人対象者で手術を受ける患者または生命の危機にある患者を対象とする看護援助の提供、看護過程の展開、看護援助計画の立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	岸本智砂子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目一覧：令和5年度

開講学部学科	履修学年	授業名称	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験と授業内容との関連
看護学部看護学科	3年	周手術期看護実習	3	実習	岸本智砂子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、病院に入院している成人対象者で手術を受ける患者または生命の危機にある患者を対象とする看護援助の提供、看護過程の展開、看護援助計画の立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	関本 朋子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	精神看護学実習	2	実習	関本 朋子	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、精神保健医療福祉における看護の役割、精神科看護に必要な基本的技術、多職種との対人関係能力について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	森山 希	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	母性看護学実習	2	実習	森山 希	看護師・助産師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、周産期における女性と新生児及びその家族に対する個々の新しい役割に応じた個別的な看護について臨地実習にて指導を行う。
看護学部看護学科	2年	基礎看護学実習	2	実習	中原 美穂	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、看護過程の展開、看護計画の立案、看護援助の実施・評価に関する看護の基礎的技術について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	3年	慢性期・終末期看護実習	3	実習	中原 美穂	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、慢性疾患を持つ対象者に対する看護援助の提供、看護過程の展開、ケアプランの立案、チーム医療の中での看護の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科	4年	在宅看護学実習	2	実習	大田 彩乃	看護師として勤務経験のある教員がその経験を活かし、在宅で療養生活を送る個人および家族を対象とした看護実践、ならびに地域の保健医療福祉システムとそれを支える多職種との連携、さらに在宅看護領域における看護職の役割について臨地実習指導を行う。
看護学部看護学科 合計 26 単位						